

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：伊藤 宗彦 作成日：2026年1月22日

1. 教育の責任

経営学部にて「マーケティング」「サービス・マネジメント」「イノベーション論」等を担当。自著の教科書やオリジナル映像教材を用い、クリエイティブな発想でビジネス課題に挑む人材を育成している。初年次から演習まで、理論と実践を融合させた指導を通じ、学生のキャリア形成と、社会で通用する高度な実践力の育成に責任を持っている。

2. 教育の理念

「創造的マーケティングの実践」を理念とする。既存の知識を覚えるだけでなく、最新の経営理論をベースに、自ら課題を発見し解決する「クリエイティビティ」の習得を重視する。視覚的・体験的に学べる環境を提供することで、変化の激しいビジネス環境において、論理と感性を融合させ、新たな価値を生み出せる自律した学修者を育てることを目指している。

3. 教育の方法

講義の最大の特徴は、オリジナルの映像教材を基点としたアクティブ・ラーニングおよび PBL（課題解決型学習）の展開にある。テキストの読解だけでは掴みにくいサービス現場の空気感や、イノベーションが生まれる瞬間を、映像を通じて視覚的・擬似的に体験させることで、学生の知的好奇心を強く刺激する。このリアリティのある文脈の中で、学生はグループワークに取り組み、既存の枠組みにとらわれないクリエイティブなマーケティング理論の活用法を模索・提案する。

理論的支柱としては、自著である既刊の『1からのサービス経営』『1からのデジタル経営』『イノベーション・マネジメント』の3冊をフル活用し、経営学の基礎から応用までを体系的に指導している。さらに、本年度は最新刊となる『1からのサービス・マネジメント』および、未来を見据えた『イノベーション・マネジメント（2027年度版）』の2冊を出版し、即座に授業へ導入する予定である。これにより、陳腐化しやすいビジネス知識ではなく、常に学界と実業界の最前線にある最新の経営学理論を提供できる体制を整えている。

これらの豊富なインプットを確実に定着させる手法として、コンセプトマップによる知識の構造化を引き続き重視している。映像や議論で得た膨大な情報を、マップを用いて体系的に整理・可視化させることで、単なる暗記ではない「使える知識」へと昇華させる。また、キャリアアセンダー長としての視点を授業設計に組み込み、これらの学習プロセスが社会で求められる「企画構想力」や「問題解決力」にどう直結するかを明示し、学生が自身の成長を具体的にイメージしながら学べるよう工夫を凝らしている。

4. 教育の成果

映像教材と PBL の連携により、学生の授業への没入感が高まり、理論が「使える知識」として定着している。学生による企画提案では、従来の枠にとらわれないクリエイティブな解決策が多く見られるようになった。授業評価でも「最新の理論が実践的に学べる」「経営学が身近になった」との声が寄せられ、高い学修成果を上げている。

5. 改善への努力と今後の目標

本年度出版される2冊の新刊教科書を授業の基盤とし、最新の理論と事例をタイムリーに提供するカリキュラムを確立する。特に、進化の早いデジタルやイノベーションの領域において、オリジナル映像教材の継続的なアップデートを行う。今後も学生の知的好奇心に応え、社会の変化に即応できる人材育成に向け、教育手法の改善を続ける。

【添付資料】

監修・執筆した主なテキスト（講義の主要テキスト）：

- ・伊藤宗彦、高室裕史（編集）（2010）『1からのサービス経営』 碩学舎
- ・伊藤宗彦（2023）『イノベーション・マネジメント』 放送大学教育振興会
- ・伊藤宗彦、松尾博文、富田純一（著、編集）（2022）『1からのデジタル経営』 碩学舎

以下、2026年度に刊行予定のテキスト：

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：伊藤 宗彦 作成日：2026年1月22日

・伊藤宗彦 (2026) 『イノベーション・マネジメント ('27)』 放送大学教育振興会

・松尾博文, 伊藤宗彦, 富田純一, 大村鐘太 (著, 編集) (2026) 『1からのサービス・マネジメント』 碩学舎